



夢を乗せて 空高く飛んで



9月26日、竹原小学校で、「宇宙博物館」開館記念行事として、宇宙に関する児童の研究発表、ロケット製作と打ち上げが行われました。これは、青少年育成広島県民会議が小学生から夢を募集する「夢配達人プロジェクト」で、竹原小学校の「JAXA」の職員の人と宇宙教室をやりた。そして、ミニロケットを飛ばしたい。」という夢が採択され、実現したものです。

「宇宙博物館」は、竹原小学校の空き教室に、児童が作成した宇宙に関する資料や、JAXAから借りたロケットや小惑星探査機などを展示しました。ロケットは、ペットボトルロケットと火薬ロケットを作成。側面には全校生徒の夢が書かれ、夢が叶うことを祈りながら打ち上げられました。

夢を提案した、6年生の相澤健太くんは、「ロケットを飛ばすことができて嬉しい。将来、JAXAで働きたい。」と、希望に胸を膨らませていました。夢を持ち、実現を願う強い思いを共有できた一日となりました。



詩吟から歴史を感じる ～全国頼山陽吟詠大会～

9月8日、市民館で、全国頼山陽吟詠大会が開催されました。初めての全国大会が、頼山陽ゆかりの地、竹原で行われるとあって、頼山陽にちなんで、講演会や踊りなどで盛り上がりを見せました。

前日の7日には、歓迎セレモニーとして、頼山陽広場で、竹原中学校と吉名中学校の生徒25人が「山陽音頭」を踊りました。桜の花を身に付けて踊る姿に、見物人は足を止めて見入っていました。

8日の吟詠大会では、全国の76団体が、頼山陽の漢詩を吟じました。市内4校の小学6年生87人による大会では、1年かけて練習した成果を発揮。息が合った、迫力ある声で吟じ、会場からは拍手が起きました。

全国から集まった愛吟家たちは、歴史を感じながら、詩吟に耳を傾けていました。

竹原工業・流通団地 新規企業進出!

8月26日、広島県庁で、「株式会社東信鋼鉄」(本社:長野県)の、竹原工業・流通団地への企業立地が発表され、立地協定調印式が行われました。

「株式会社東信鋼鉄」は、鋼材加工販売を事業とし、全国で事業展開しています。中国地方で初の加工拠点として整備することで、西日本への供給体制と今後の販路拡大を見込んでいます。

平成26年2月の操業に向け、雇用の拡大などが期待されています。今回の立地協定は、3年連続となり、分譲率は70%を超えました。



助け合いの大切さを学ぶ 総合防災訓練

9月14日、バンブー公園の芝生広場で、総合防災訓練が行われました。地震を想定した訓練で、避難救助や誘導、非常炊き出し、飲料水の配給など、それぞれの役割を果たし、協力しあいながら、訓練に励みました。自助・共助・公助の大切さを改めて実感する機会となりました。



訓練の成果を発揮して 消防団激励

9月6日、市役所で、9月7日に広島市で開催の広島県消防ポンプ操法競技大会へ出場する、竹原市消防団第2分団への激励会が行われました。4年に1度の大会で、訓練の成果を遺憾なく発揮するよう、市長から出場者へ激励を行いました。



憧れの路を彩る 竹灯りを作成

9月21日、バンブー公園の多目的グラウンド横で、憧れの路で使用する竹灯りを作成しました。参加者は手分けして、竹を切り、タオルで磨き、竹3本をロープで縛る作業を行いました。今年も、幻想的な光が浮かび上がるのが楽しみですね。



祝 100歳 いつまでもお元気で

9月24日、小坂市長が今年度100歳になるみなさんを訪問し、敬老祝金を贈呈しました。長生きの秘訣は「寝ること」と教えてくれた人も。体調には気をつけて、いつまでも元気に過ごしてくださいね。



再び出陣！ 竹原市PR隊

9月16日、マツダスタジアムで、竹原市のPRを行いました。今回は、広島東洋カープと「憧れの路」をコラボしたクリアファイルのプレゼントや、大型ビジョンでのPR、竹原の特産品の販売などを行いました。

「憧れの路、今年はいつやるの?」、「2年連続で行ったよ!」など、竹原を知っている人からたくさん声をかけていただきました。

試合も、カープがリードを守りきり、巨人に勝利! 球場は歓声に包まれました。



活躍を祈り 全国大会出場者を激励

9月26日、市役所で、第68回国民体育大会(9月28日~10月8日)と、第13回全国障害者スポーツ大会(10月12日~14日)の出場者激励会が開催されました。

東京都で開催される今大会に、竹原市からは4人が出場します。相撲競技の成年男子の部に、村松裕介さんと長尾光真さんが出場し、相撲競技の少年男子の部に、中尾英貴さんが出場します。また、障害者スポーツ大会のフライングディスクに、向井由美さんが出場します。

出場者のみなさん、日頃の練習の成果を発揮して、頑張ってください。